



経営診断表による戦略的事業運営

一目で分かる経営診断

経営を健全な状態に改善しつつ、将来にわたり、下水道サービスを提供するためには、人・モノ・カネを関連づけた「戦略的な事業運営」が重要です。

経営診断表を導入し、事業体に適したオーダーメイド型の戦略的事業運営を一緒に考えていきませんか。

経営診断表の特徴

事業体の状況は様々であるため、戦略的事業経営を行うためには、自らの立ち位置を把握するとともに、下水道事業が置かれている状況を明確にする必要があります。

当社が提案する経営診断表では、人・モノ・カネの3つの視点から、他団体との比較や前年度からの課題の改善状況を1枚の診断表で把握できるため、『経営状況の見える化』を容易に実現できます。

Point 1

ポジショニング分析では、対全国、対県内のような2軸による分析を行うことで、自らの立ち位置を確認することができます。

Point 2

設定した人・モノ・カネの3分野の指標をもとに偏差値により、強み、弱みを確認することができます。

Point 3

診断項目は、初期設定での分析のほか、事業体の特性や要望により、自由にカスタマイズできます。

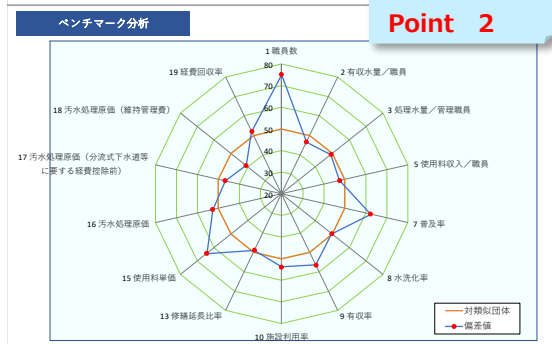
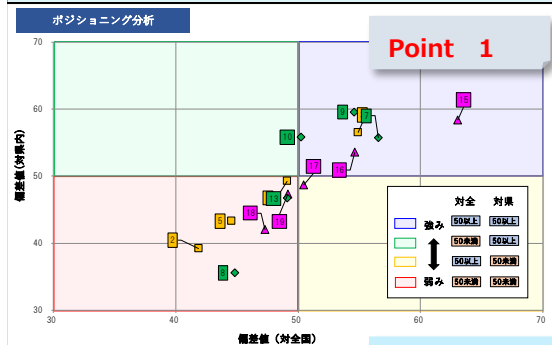
Point 4

経営戦略等を担う弊社担当者により、診断結果をもとに、事業体がどのような経営状況であるかの分析を行います。

(オモテ)

団体名	事業名	法適用状況	類似団体区分	診断年
	公共下水道			H31 2019

成績	全国 B			県内 B			類似団体 B		
	今年度	前年度	前年比	今年度	前年度	前年比	今年度	前年度	前年比
総合	49.6	50.2	↓ 0.6	48.9	49.6	↓ 0.7	53.3	53.2	↑ 0.1
人	47.6	47.9	↓ 0.3	47.1	47.9	↓ 0.9	54.6	54.2	↑ 0.3
モノ	51.1	52.0	↓ 0.9	50.7	51.5	↓ 0.9	54.3	54.3	↓ 0.0
カネ	50.2	50.8	↓ 0.6	48.8	49.2	↓ 0.4	50.9	51.0	↓ 0.1



区分	No	財務指標	単位	偏差値(対全国)	偏差値(対県内)	偏差値(対類似団体)	実績値	目標値	Point 3	
									実績値	目標値
人	1	職員数(内訳: 施設勘定職員+資本勘定職員)	人	49.1	49.3	75.1	12	高いほど良い		
	2	職員1人当たりの有収水量	m ³ /人	41.9	39.1	46.5	194.131	高いほど良い		
	3	処理場管理職員1人当たりの処理水量	m ³ /日/人	54.9	56.5	49.2	3.242	低いほど良い		
	4	管理管理職員1人当たりの管路延長	km/人	-	-	-	-	高いほど良い		
	5	職員1人当たり下水道使用料収入	千円/人	44.5	43.3	47.5	38962.0	高いほど良い		
	6	維持管理費民間委託比率	%	-	-	-	-	高いほど良い		
				偏差値(人)	47.6	47.1	54.6			
				成績(人)	B	B	B			

区分	No	財務指標	単位	偏差値(対全国)	偏差値(対県内)	偏差値(対類似団体)	実績値	目標値
8	水洗化率(接続率)	%	44.8	35.5	49.7	79.9	100.0	
9	有収率	%	54.6	59.6	56.6	98.4	90.0	
10	施設利用率(日平均)	%	50.2	55.8	53.8	56.7	高いほど良い	
11	施設の老朽化率(管渠)	%	-	-	-	-	-	
12	施設の老朽化率(処理場)	%	-	-	-	-	-	
13	修繕延長比率	%	49.1	46.7	49.0	0.0	低いほど良い	
				偏差値(モノ)	51.1	50.7	54.3	
				成績(モノ)	B	B	B	

区分	No	財務指標	単位	偏差値(対全国)	偏差値(対県内)	偏差値(対類似団体)	実績値	目標値
18	汚水処理原価	円/m ³	54.6	53.6	52.7	229.7	低いほど良い	
17	汚水処理原価(分流水下水道等に要する経費控除前)	円/m ³	50.5	48.7	46.8	333.9	低いほど良い	
18	汚水処理原価(維持管理費)	円/m ³	47.3	42.0	41.0	91.2	低いほど良い	
19	経費回収率	%	49.2	47.3	52.0	87.4	100.0	
20	経費回収率(分流水下水道等に要する経費控除前)	%	51.8	50.6	57.6	60	高いほど良い	
21	維持管理職員当たり維持管理費	千円/人	46.3	47.3	50.2	129.228	高いほど良い	
22	収益的収支比率	%	48.1	47.1	51.7	90.5	100.0	
23	処理区域内人口1人当たりの企業債(地方債)現在高	千円/人	-	-	-	-	低いほど良い	
24	繰入金比率(基準外)	%	40.8	44.6	41.6	4.5	低いほど良い	
				偏差値(カネ)	50.2	48.8	50.9	
				成績(カネ)	B	B	B	

診断結果

人 ●●●●

モノ ●●●●●●

カネ ●●●●●●

Point 4

(ウラ)

Point 5

ウラ面には、設定した指標の意味を表示します。

指標の説明

区分	No	指標名		区分	No	指標名	
		算定方法	指標の意味			算定方法	指標の意味
人	1	職員数(内訳:損益勘定職員+資本勘定職員) 単位:[人]	-	カネ	15	使用料単価 単位:[円/m ³]	有収水量1m ³ 当たり、どれくらい収益を得ているかを示す数値。
	2	職員1人当たりの有収水量 単位:[m ³ /人]	職員一人当たり年間有収水量は、損益勘定で人件費を負担する職員一人当たりの年間有収水量を表す経営指標である。この指標は有収水量の総額に割られて、人員数が適切であるかを示している。つまり、職員一人当たり年間有収水量が多いほど、より少ない人員で効率的な経営ができていくことになる。		16	汚水処理原価 単位:[円/m ³]	有収水量1m ³ 当たり、どれくらい汚水処理に要する費用がかかっているかを示す数値。事業規模が小さいほどスケールメリットが働かないため、数値が高くなる。
	3	処理場管理職員1人当たりの処理水量 単位:[m ³ /日/人]	処理場を管理している職員1人当たりの処理水量を表すもので、値が高いほど効率的な運用であるといえる。		17	汚水処理原価(分流式下水道等に要する経費控除前) 単位:[円/m ³]	有収水量1m ³ 当たり、どれくらい汚水処理に要する費用がかかっているかを示す数値。事業規模が小さいほどスケールメリットが働かないため、数値が高くなる。
	4	管渠管理職員1人当たりの管渠延長 単位:[km/人]	管渠を管理している職員1人当たりの管渠延長を表すもので、値が高いほど効率的な運用であるといえる。		18	汚水処理原価(維持管理費) 単位:[円/m ³]	有収水量1m ³ 当たり、どれくらい汚水処理に要する費用がかかっているかを示す数値。汚水処理費のうち、維持管理費(管渠費、処理場費、その他)に相当する部分の数値が対象である。
	5	職員1人当たり下水道使用料収入 単位:[千円/人]	職員当たりの下水道使用料収入を示し、人員不足の状況判断する指標。		19	経費回収率 単位:[%]	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収率を示し、100%以上であることが求められる。
	6	維持管理費民間委託比率 単位:[%]	維持管理費に絡める委託の割合を示し、民間委託による管理を進める方針がある場合は、導入に向けた目標設定等に有効である。値が低ければ、民間委託が進んでいないことを表す。		20	経費回収率(分流式下水道等に要する経費控除前) 単位:[%]	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収率を示し、100%以上であることが求められる。
モノ	7	下水道処理人口普及率 単位:[%]	住民のうち下水道を使用できる人口の割合で、下水道整備が進むほど高い値となる。	21	維持管理職員1人当たり維持管理費 単位:[千円/人]	損益勘定職員1人当たりの維持管理費を示すもので、値が高い方が効率的な運用といえる。	
	8	水洗化率(接続率) 単位:[%]	住民のうち水洗便所設置済人口 / 現在処理区域内人口	22	収益的収支比率 単位:[%]	比率が高いほど企業の内容容が良好と判断されるが、公共事業であることを考えると必ずしも高い方がよいわけではない。	
	9	有収率 単位:[%]	年間有収水量 / 年間汚水処理水量	23	処理場内人口1人当たりの企業(地方創)収益高 単位:[千円/人]	H26以降：企業現在在高 / 現在処理区域内人口	
	10	施設利用率(日平均) 単位:[%]	施設利用率が適正なためのもので、一般的には70~80%となる。	24	繰入金比率(基準外) 単位:[%]	一般会計から下水道会計への繰入金のうち、総務省が定める基準に基づかない繰入金(基準外繰入金)の占める割合を示すもので、受益者負担の公平性の観点からゼロであることが望ましい。	
	11	施設の老朽化率(管渠) 単位:[%]	耐用年数超過管渠延長 / 下水道維持管理延長	【備考】 ※1)成績は、9段階評価で以下のとおりとしています。 A+: 偏差値88以上、A: 偏差値77以上、A-: 偏差値66以上、B+: 偏差値55以上、B: 偏差値44以上、B-: 偏差値33以上、 C+: 偏差値22以上、C: 11偏差値以上、C-: 偏差値11未満 ※2)「施設利用率(日平均)」は、120%を超える団体は異常値として対象外としています。 ※3)「本分析にあたっては、総務省「地方公営企業年報(R01)」とし、「繰入金比率(基準外)」は決算統計(R01)等より算出しています。			
	12	施設の老朽化率(処理場) 単位:[%]	処理場のうち15年を経過したものの割合で、主要な設備の老朽化度合いを表すもの。				
	13	管渠延長比率 単位:[%]	管渠全体のうち、修繕した延長の割合を表す値であり、建設時から経過年数が少ない場合は小さい方が望ましい。				

経営診断表の活用場面

経営診断表は、以下の活用場面を想定しています。

まずは、1回利用して、その後導入といったことも可能です。

経営診断表の結果に基づき、弊社のスタッフが詳細に経営状況を説明させて頂き、

事業体でより詳細な検討や分析が必要と感じた場合には、様々なご提案をさせていただきます。

